

「楽しい学校生活を送るためのアンケート」Q-U

標準化された心理テスト(図書文化)

小学校1～3年用、4～6年用、中学生用、高校用の4種類あり、子どもたちの学級生活での満足感と意欲、学級集団の状態を、質問紙によって測定するもの。

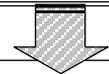
構成

「いごちのよいクラスにするためのアンケート(学級満足度尺度)」
 「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート(学校生活意欲尺度)」

1 Q-Uの特徴

2つの心理テストからわかること

子どもたち一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と今後の学級経営の方針をつかむことができます。



不登校なる可能性が高い子どもがわかる
 いじめで被害を受けている可能性の高い子どもがわかる
 各領域で意欲が低下している子どもがわかる
 (学習意欲, 友人関係, 学級との関係, 教師との関係, 進路意識)
 学級崩壊に至る可能性がわかる
 学級集団の雰囲気わかる

実施・集計・結果の見方, 理解

実施時間10分～15分(朝や帰りの会で実施可能)
 質問内容が子ども, 教師に対して抵抗が少ない
 結果が図表化 全体のイメージがつかみやすい
 活用しやすい 学級経営, 子どもへの対応, 授業の工夫, 校内研修での活用

全国平均値と比較し4つの群にプロット, 分類

児童生徒が自分の存在や行動が級友や教師から信頼されているか否か **承認得点**
 リレーションの定着: 仲間意識, 集団活動の活発化
 不適応感やいじめ・冷やかしの被害を受けているかを示す **被侵害得点**
 ルールの定着: 対人関係のトラブル減少
 傷つけられないという安心感

2 学級満足度尺度でわかる子どもたちのタイプ

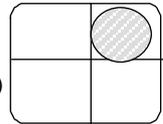
満足型学級

学級の特徴

- 互いに気持ちよく生活できるルール(マナー)が定着している。
- 教師と子ども, 子どもたち同士の間で, 親しい人間関係が形成されている。子どもたちの多くは「自分は認められている」「居場所がある」と感じ学級に満足している。

教師の特徴

細やかな気遣いの中に強い指導性をあわせつつ指導スタイル



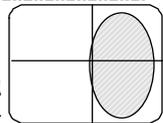
管理型学級

学級の特徴

- 集団生活のルールは定着しているものの承認得点の差が大きい。認められていると思う子と思わない子との差が大きい。子どもたち同士の人間関係が希薄で子ども同士の関係にも距離がある。
- 教師も周りも職員もうまくいっていると思いがち。子どもたちが仕方なく教師に合わせていることがある。
- 教師への不満のはけ口が友だちになる。「先生はわかってくれないからやめた」とマイナス行動を示す子と教師の期待に応えようとする子の2つのグループに分けられていく。

教師の特徴

心情面に配慮する面が弱く一貫して強く指導するスタイル



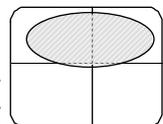
なれあい型学級

学級の特徴

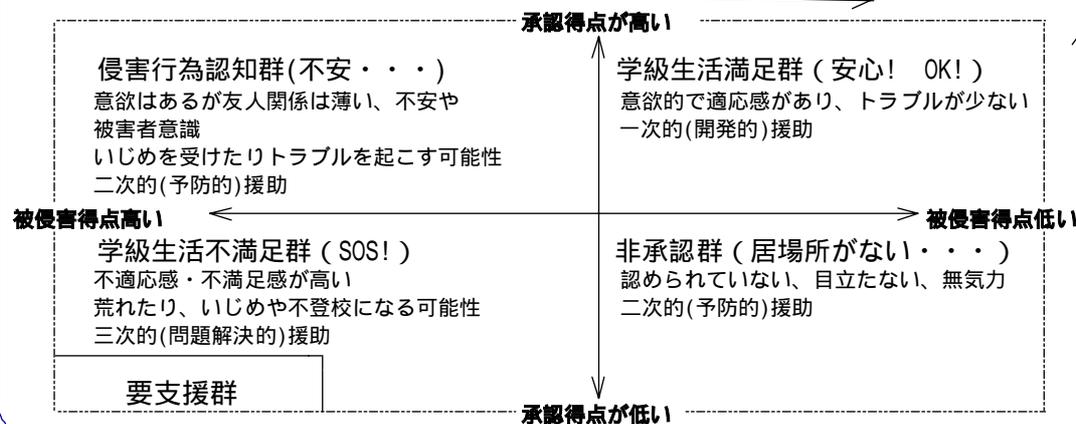
- 学級内のルールの定着が低く, 明確になっていない。授業に私語, 係活動ができないなど学級の行動規範が低下。
- 子どもたち同士の間の小さなトラブル, 特定の声の大きな子どもたちに, 学級全体が牛耳られてしまうこともある。

教師の特徴

強い指導はしない温和で気遣いの細やかな指導スタイル
 子どもに配慮しすぎてルール違反を許す。子ども人間関係づくりをしようとする教師の発想が欠けやすい。



ルールの確立



【参考文献】 河村茂雄著『学級づくりのためのQ-U入門』, 図書文化, 2006
 河村茂雄編著『教師のための失敗しない保護者対応の原則』, 学陽書房, 2007